

二人一組で簡単にできる モウソウチクの防除法

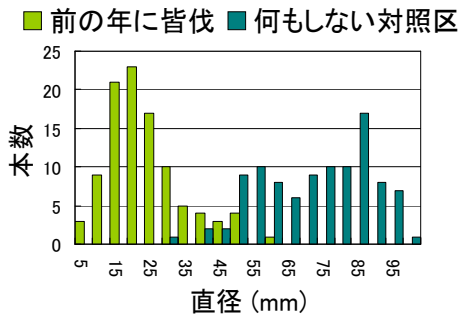
モウソウチクは九州から北海道南部まで広い範囲で植栽され、地下茎による強い繁殖力で広がり、スギ林に侵入してスギを枯らしたり、住宅地に侵入するなど問題になっています。

増えすぎた竹を枯らすためには、定められた農薬を一本一本の竹の中に入れますが、びっしり生えた竹林の中は迷路のようで、また農薬の入れ忘れがあったりするなど、作業が思うようにはかどりません。

このため、充電ドリルと改良したシャンプーボトルに農薬を入れて、竹のマーキング→穴あけ作業→薬剤注入→テープ巻きといった作業順序を決め、二人一組で効率的に竹を枯らす作業体系を確立しました。



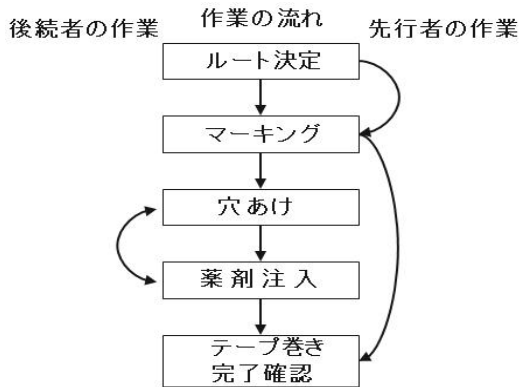
2m×2mの範囲に19本も生えています



切るだけでは翌春細い竹が高密度に生えてしまい悪循環です

	作業	装備
先行者	ルート決定、マーキング、(伐採)、テープ巻き	手鋸、スプレー、布テープ、プロテクター付きヘルメット、ベルト類
後続者	穴あけ、薬剤注入	充電ドリル、薬剤、分注シリンジ、ヘルメット、ゴム手袋、ゴーグル、ベルト類

二人一組で行う作業体系 先行者と後続者の作業と装備



二人一人で行う作業体系の流れ



シャンプーボトルを利用した注入容器
3回プッシュで必要量の10mlが入ります